

J Aバンク群馬における地域密着型金融の取組状況（平成 23 年度）

J Aバンク群馬（群馬県下 J A と農林中央金庫前橋支店）では、農業と地域社会に貢献するため、平成 22～24 年度 J Aバンク群馬中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

平成 23 年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

1 農山漁村等地域の活性化のための融資を始めとする支援 （J Aバンク群馬の農業メインバンク機能強化への取組み）

J Aバンク群馬は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

（1）農業融資商品の適切な提供・開発

J Aバンク群馬は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

平成 24 年 3 月末時点の J Aバンク群馬の農業関係資金残高^(注1)は 22,701 百万円（うち農業経営向け貸付金 19,938 百万円）、日本政策金融公庫等の受託貸付金^(注2)残高は 7,220 百万円を取扱っています。

（注 1）農業関係の貸出金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。

（注 2）J Aバンク群馬が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。受託貸付金残高には、J A転貸分を含みます。

【営農類型別農業資金残高】 単位 百万円

	24 年 3 月末現在
農業	19,938
穀作	924
野菜・園芸	5,286
果樹・樹園農業	411
工芸作物	298
養豚・肉牛・酪農	6,992
養鶏・鶏卵	2,443
養蚕	1
その他農業（注 1）	3,580
農業関連団体等（注 2）	2,763
合計	22,701

（注 1）「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。

（注 2）「農業関連団体等」には、J A や全農（経済連）とその子会社等が含まれています。

【資金種別別農業資金残高】

単位 百万円

種 類	24年3月末現在
プロパー資金(注1)	8,990
農業制度資金(注2)	13,710
農業近代化資金	8,233
その他制度資金(注3)	5,477
合 計	22,701

(注1) プロパー資金とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。

(注2) 農業制度資金には、地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、地方公共団体等が利子補給等を行うことでJAバンク群馬が低利で融資するもの、日本政策金融公庫等が融資するものがあり、ここではの転貸資金とを対象としています。

(注3) その他制度資金には、農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】

単位 百万円

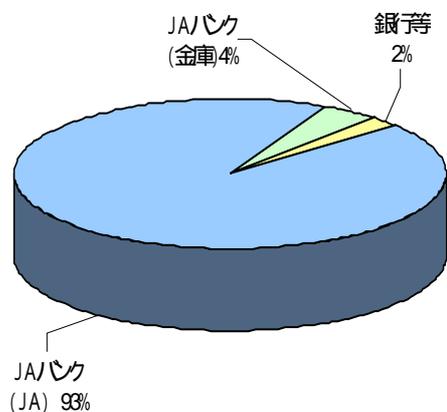
種 類	24年3月末現在
日本政策金融公庫資金	7,220
合 計	7,220

(注)

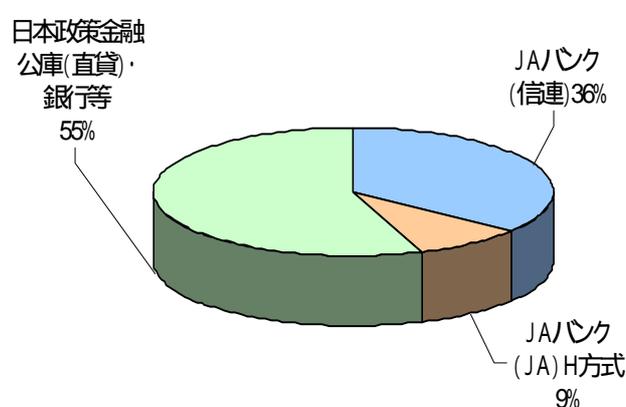
JAバンク群馬では、主にはJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

JAバンクは主要な農業関係の制度資金である、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いにおいてトップシェアとなっています。

農業近代化資金
平成23年12月末現在



公庫受託貸付
平成24年3月末現在



(2) 担い手のニーズに応えるための体制整備

J Aバンク群馬では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでいます。

J Aでは、本支店の農業融資担当者が、営農・経済担当者がお聞きした情報も含めて把握して、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しています。また、県内15 J Aの本店には30人の「担い手金融リーダー」が設置され、支店の活動をサポートしています。

農林中金前橋支店では、J Aのサポート指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター機能」を構築し、これらの機能の拡充、強化を実施しています。

(3) J A内事業間連携の強化

農業者の多様なニーズにJ Aをあげて応えていくため、営農・経済事業等との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上に、J A内事業間連携を強化しています。

主な取組内容
営農部署が主催するT A Cミーティングに役員や金融担当職員も出席し、訪問活動を通じて得た農業者からの意見・要望に対し、J Aとしての対応を検討する場を設けている。
J A全農ぐんまが主催するアグリマシフェア（農機具展示会）に参画し、会場内に設置したJ Aバンクコーナーにおいて、農業資金等のP R、相談活動を実施。

2 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援

J Aバンク群馬は、担い手をサポートするため、ライフサイクルに応じて、次の取組みを行っています。

(1) 新規就農者の支援

J Aバンク群馬では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、就農支援資金を取り扱っています。

【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】

単位 件,百万円

	平成23年度 実行件数	平成23年度 実行金額	平成24年3月末 残高
就農支援資金（転貸）	12	56	336
その他	1	7	7
合計	13	63	343

(2) 経営不振農家の経営改善支援

J Aバンク群馬では、負債整理資金の対応にあたり、特別融資制度推進会議を通じて関係機関と協議するなど、農業者の経営再建に向けて取り組んでいます。

【平成 23 年度の農業者の経営改善支援等の取組み実績】

(単位：先)

		期初経営改善 支援取組先 A	Aのうち再 生計画を策 定した先数 a	Aのうち期 末に債務者 区分がラン クアップし た先数 b	Aのうち期 末に債務者 区分が変化 しなかった 先数 c	事業計画策 定率 = a / A	ランクアッ プ率 = b / A
正常先		60	1		50	1.7%	
要 注 意 先	うちその他要 注意先	119	3	10	101	2.5%	8.4%
	うち要管理先	0	0	0	0	-	-
破綻懸念先		38	5	6	24	13.2%	15.8%
実質破綻先		122	4	14	108	3.3%	11.5%
破綻先		4	0	0	4	0.0%	0.0%
小計(~ の 計)		283	12	30	237	4.2%	10.6%
合計		343	13	30	287	3.8%	8.7%

注)

・期初経営改善支援取組先および債務者区分は平成 23 年 1 月末または 2 月末時点でのものです。

(3) 農業法人とのコミュニケーション強化

農林中央金庫前橋支店は、群馬県農業法人協会の賛助会員として、地域農業の有力な担い手である農業法人経営者の皆様との交流を深めています。

J Aグループのネットワークを活用したセミナー開催や、農業法人への訪問活動等を通じ、情報提供やコミュニケーション強化を図っています。

【平成 23 年度 セミナー実績】

講演会名	参加対象者	内容
第 9 回群馬県農業法人協会総 会・研修会	群馬県農業法 人協会会員・賛 助会員等	変貌する世界の穀物市場とわが国農業

3 経営の将来性を見極める融資手法を始め、担い手に適した資金供給手法の提供

J Aバンク群馬では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

(1) 負債整理資金による軽減支援

J Aバンク群馬では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

【平成 23 年度負債整理資金の貸出実績】

単位 件, 百万円

資金名	実行件数	実行金額	平成 24 年 3 月末 残高
農業経営負担軽減支援資金	0	0	4 6
畜産特別資金	1	5 0	8 7 8
その他	0	0	0
合計	1	5 0	9 2 4

- ・ 農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っています。
- ・ 畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っています。

(2) 動産担保融資の活用

J Aバンクでは、農畜産物や事業用車両、各種在庫など様々な動産を担保とした融資を行い、不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資等への取組みを行っております。

群馬県における融資の実績は次表のとおりです。

【群馬県における 23 年度活用実績】

単位 件, 百万円

	平成 23 年度	
	件数	残高
農産物	0	0
畜産物	1 8	6 5 1
機械設備	0	0
その他	0	0
合 計	1 8	6 5 1

4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

JAバンク群馬では、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

(1) 災害被災者への支援

JAバンク群馬では、東日本大震災に伴う出荷停止対策資金や風評被害対策資金を創設したほか、個別融資先の経営状況に応じて償還条件の緩和等に対応しました。

単位 件, 百万円

取組事例	JA名	内容	件数	貸付実行金額
家畜飼料特別支援資金		配合飼料価格高騰により畜産経営に対する資料購入に伴う資金対応。	0	0
東日本大震災に伴う出荷停止対策資金の対応	県内JA	群馬県では東日本大震災の出荷停止に伴う対策として、群馬県からの利子補給による無利子資金を創設。	21	43
東日本大震災に伴う風評被害対策資金の対応	JA 赤城 たちばな	群馬県下JAでは東日本大震災の風評被害対策として、農林中金及び信連からの利子補給とJA自助努力による無利子資金を創設。	2	8
〃	JA 前橋市	〃	17	45
〃	JA 佐波伊勢崎	〃	18	39
〃	JA たかさき	〃	5	13
〃	JA はぐくみ	〃	6	43
〃	JA 北群渋川	〃	2	10
〃	JA あがつま	〃	2	8
〃	JA 邑楽館林	〃	3	12
合計			76	221

(2) JAバンク食農教育応援事業の展開

JAバンク群馬は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、JAバンク食農教育応援事業を展開し、農業にかかる教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、JAバンクを通じて、県下の小学校332校へ、20,000セット配布され、学校の授業等において活用されています。

また、県下JAでは、下表のような食農教育などの実践活動に取り組んでいます。

【JAバンク食農教育応援事業による活動内容】

JA名	活動名	実施日	活動内容
赤城たちばな	「ちゃぐりん」を活用した食農教育	7月	地元小学校5年生へ「ちゃぐりん」(子供向け農業情報誌)を配布。
	ちびっ子農業体験学習	7月28日 7月29日	地元小学生を対象に農家に宿泊しての農業体験を実施。
	地元野菜ふれあい教室	10月8日	地元小学生を対象に野菜管理作業及び試食会の開催。
前橋市	大胡青年部稲作体験	6月～11月	地元小学校5年生を対象に青年部と協力しての米作り体験学習を実施。
	前橋青年部稲作体験	6月～10月	地元小学生を対象に地域の方々との米作り体験学習を実施。
	前橋青年部収穫体験	6月～10月	前橋市内の幼稚園を対象に前橋青年部と協力してサツマイモの栽培と収穫体験学習を実施。
	粕川青年部収穫体験	6月～10月	地元小学生を対象に粕川青年部と協力して、米作り体験学習を実施。
	JA前橋市ちゃぐりんフェスタ	7月28日 7月29日	地元小学生・親子による料理講習、野菜栽培体験を実施。
佐波伊勢崎	親子料理教室	10月、2月	伊勢崎市と協力し、地元農産物を使った料理教室を開催。
	農業祭り 食育コーナー	11月23日	パネル展示や地元野菜の写生コンクールを開催。
たかさき	稲作体験教室	4月～11月	地元小学校5年生を対象に稲作体験教室を開催。
はぐくみ	小学生による農業体験	5月～12月	地元小学校を対象に籾播き、田植え、稲刈り体験と収穫感謝祭を実施。
たのふじ	親子トマト収穫体験教室	7月10日	地元小学生と親子によるトマト収穫体験教室を開催。
甘楽富岡	食農教育・お米作り体験事業	5月～11月	地元小学校4・5年生を対象に田植え、稲刈りなどの実習。
	食農教育・お米作り体験事業 もち米でアートを描こう	5月～11月	地元在住の園児、小学生、中学生を対象に田植え、田んぼの生き物調査、稲刈りの実習。
碓氷安中	食と農の体験学習	6月～12月	多世代の園児・小学生とその父母による農業体験及び料理実習。
	「ちゃぐりん」8月号特別普及活用運動	7月	「ちゃぐりん」(子供向け農業情報誌)をテキストとして活用し、食農教育(出前授業)を実施。

JA名	活動名	実施日	活動内容
あ が つ ま	水稲農業体験学習	6月～11月	水稲もちの農業体験学習及び食農教育学習、もちつき大会を実施。
	農業体験学習、料理教室	6月～1月	学校農園を利用し、野菜栽培収穫体験及び料理教室の実施。
	地場産食材を使った学校給食	9月～10月	地場産食材を学校給食で使用し、食材に対しての食農教育を実施。
	地場産米の料理教室	11月5日	ちやぐりんフェスタの中で小学生を対象とした地場産米の料理教室、お米の研修会等を実施。
利 根 沼 田	田植え体験	5月～10月	地元小学生を対象に田植えから収穫までの米作りの一連の作業と料理作りを実施。
	親子農業体験	5月、8月、10月	地元幼稚園・小学生の親子を対象に農業体験と料理作りを実施。
	JAカップ協賛による地元産米への理解と消費拡大	6月～7月	地元小学生が参加する野球大会JAカップに協賛し、地元産米や農業の大切さのPRを実施。
	わくわく教室	7月27日	地元小学生を対象に農産物への理解を深めるための講習と料理作りを実施。
	ちやぐりんフェスタ	10月～11月	農産物への理解を深める講習、野菜を使ったゲーム、料理作りを実施。
太 田 市	JA太田市食農教育プラン2011	5月～11月	太田市内小学生を中心とした農業体験・食農教育の推進。
邑 楽 館 林	いちご収穫体験	5月	青年部員を通じて一般家庭の親子によるいちごの収穫体験(地産地消推進)を実施。
	稲作体験と収穫感謝祭	5月～11月	地元小学校5年生を対象に稲作体験と収穫感謝祭を実施。
	きゅうり収穫体験	10月	地元小学校3年生を対象に「農家の仕事の工夫」の学習の一環としてきゅうりの収穫体験を実施。
	料理教室	11月、12月	JA女性会と協力し、地元食肉を用いたソーセージ作り体験を実施。
群 馬 信 連	子供向け新聞教育特集	6月～9月	上毛新聞社が毎週日曜日に発行している子供向け新聞「週刊 風っ子」の広告欄を使用し、金融教育特集記事を5回掲載。
	JAバンクファミリーキャンプ	8月7日 8月8日	県内の小学生親子を対象とした、地産地消をテーマにしたキャンプを開催。イベントを通じて、食農教育、金融教育を実施。

以 上